



# 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 関西スーパーマーケット  
コード番号 9919 URL <http://www.kansaisuper.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 耕治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 生橋 正明

TEL 072-772-0341

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	89,831	△1.8	△442	—	△85	—	△74	—
26年3月期第3四半期	91,467	2.1	1,104	△8.5	1,620	9.8	1,053	31.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 124百万円 (△89.5%) 26年3月期第3四半期 1,188百万円 (38.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△2.63	—
26年3月期第3四半期	37.26	—

(注) 営業収益は売上高に営業収入を加えたものです。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	57,651		27,345		47.4	
26年3月期	55,426		28,002		50.5	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 27,345百万円 26年3月期 28,002百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	8.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,170	△1.6	50	△97.2	440	△81.8	210	△85.5	7.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	28,740,954 株	26年3月期	28,740,954 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	494,058 株	26年3月期	495,338 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	28,246,677 株	26年3月期3Q	28,268,071 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の政府による大規模な経済政策や金融緩和により、円安、株高となり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、平成26年4月に実施された消費税率引き上げによる個人消費の冷え込みなどにより、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当小売業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、その後の消費者の低価格・節約志向、夏場の天候不順、業種・業態を越えた価格競争の激化、円安による原材料価格の高騰、電気料金の値上げなどが重なり、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、今一度原点に戻り「お客様目線の店づくり」を目指し、新たに「商品力強化」「販売力強化」「競争力強化」「基本の徹底」「教育」「コスト意識向上」の6つの取組み課題を掲げ、その地域に“なくてはならないスーパーマーケット（地域一番店）”の実現を目指してまいりました。

「商品力強化」については、当社独自のおいしくて価値ある商品（当社自慢の品）を、お客様にわかりやすく提案するために「見える化」を図り、即食・簡便ながらおいしい惣菜商品の研究のための惣菜プロジェクトを立ち上げ惣菜の強化に注力しております。「販売力強化」については、テーマを明確にした『催事コンテスト』や従業員自らが考えた『納得の試食会』等の実施により販売力強化を目指しております。「競争力強化」については、店舗毎に競合対策を講じ、従来の恒例販促をさらに強化し、カテゴリー割引・クーポン発行等の新たな販売促進施策を行っております。「基本の徹底」については、バックヤードのあるべき姿の「見える化」を推進し、クリンリネス、品質チェック、定位置管理等の店舗運営に関する基本作業について、再度徹底致しました。「教育」については、品質・鮮度の重要性、適正発注についての技術やその他職位毎に求められる知識を恒常的に教育することにより従業員個々の能力向上を図ってまいります。「コスト意識の向上」については、経費検討委員会を設置し、高騰するエネルギー費用、建築費、消耗品費等のコントロールに取り組んでおります。

店舗の新設については、平成26年4月に「高石駅前店」（大阪府高石市）、8月に老朽化した小型店舗の「緑ヶ丘店」（兵庫県伊丹市）をスクラップし、その後継店として、近隣に「久代店」（兵庫県川西市）を開店いたしました。既存店強化策としては平成26年5月に「瑞光店」（大阪市東淀川区）、6月に「豊中南店」（大阪府豊中市）、7月に「永和店」（大阪府東大阪市）の売場改装を行いました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の営業収益は898億31百万円（前年同期比1.8%減）、営業損失は4億42百万円（前年同期は営業利益11億4百万円）、経常損失は85百万円（前年同期は経常利益16億20百万円）、四半期純損失は74百万円（前年同期は四半期純利益10億53百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は576億51百万円となり、前連結会計年度末比22億24百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が41億10百万円増加した一方、有価証券が19億70百万円減少したことであり

ます。なお、純資産は273億45百万円となり、前連結会計年度末比6億56百万円の減少となりました。

その主な要因は、利益剰余金が8億56百万円減少した一方、その他有価証券評価差額金が1億63百万円増加したこととであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年10月30日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が427,804千円減少、退職給付に係る負債が83,757千円増加し、利益剰余金が329,445千円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,894,719	9,004,918
売掛金	1,221,881	1,346,027
有価証券	2,019,997	49,903
商品	2,473,159	3,115,157
貯蔵品	45,763	40,549
その他	2,496,000	2,362,867
流動資産合計	13,151,523	15,919,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,542,719	8,348,765
土地	18,916,207	18,797,300
その他(純額)	2,146,004	1,761,655
有形固定資産合計	28,604,931	28,907,720
無形固定資産	220,374	231,316
投資その他の資産		
差入保証金	7,255,245	6,563,062
退職給付に係る資産	1,350,366	945,987
その他	4,844,494	5,084,098
投資その他の資産合計	13,450,106	12,593,147
固定資産合計	42,275,412	41,732,185
資産合計	55,426,936	57,651,609

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,574,650	12,141,010
短期借入金	900,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	2,317,500	2,680,000
未払法人税等	429,414	75,930
賞与引当金	807,230	413,322
事業整理損失引当金	50,538	—
その他	3,813,700	4,316,777
流動負債合計	15,893,033	20,527,041
固定負債		
長期借入金	6,650,000	5,460,000
退職給付に係る負債	690,715	805,213
資産除去債務	162,621	159,640
その他	4,028,559	3,353,738
固定負債合計	11,531,896	9,778,592
負債合計	27,424,929	30,305,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,277,333	7,277,333
資本剰余金	8,321,237	8,321,237
利益剰余金	12,274,129	11,417,871
自己株式	△306,754	△305,822
株主資本合計	27,565,946	26,710,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172,841	335,846
退職給付に係る調整累計額	263,218	299,509
その他の包括利益累計額合計	436,060	635,355
純資産合計	28,002,006	27,345,976
負債純資産合計	55,426,936	57,651,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	89,813,365	88,265,593
売上原価	68,655,439	67,753,213
売上総利益	21,157,926	20,512,380
営業収入	1,654,171	1,565,667
営業総利益	22,812,097	22,078,047
販売費及び一般管理費	21,707,703	22,520,522
営業利益又は営業損失(△)	1,104,394	△442,475
営業外収益		
受取利息	6,181	8,710
受取配当金	50,294	51,141
持分法による投資利益	304,534	102,700
受取手数料	113,627	117,601
その他	127,575	184,443
営業外収益合計	602,213	464,597
営業外費用		
支払利息	72,869	72,647
その他	12,781	35,382
営業外費用合計	85,651	108,030
経常利益又は経常損失(△)	1,620,956	△85,908
特別利益		
固定資産売却益	—	61,740
特別利益合計	—	61,740
特別損失		
固定資産除売却損	43,340	6,899
投資有価証券売却損	—	51,851
特別損失合計	43,340	58,750
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	1,577,616	△82,918
法人税、住民税及び事業税	235,994	232,197
法人税等調整額	288,455	△240,778
法人税等合計	524,449	△8,581
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,053,166	△74,336
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,053,166	△74,336



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	1,053,166	△74,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,820	157,455
退職給付に係る調整額	—	36,290
持分法適用会社に対する持分相当額	49,221	5,549
その他の包括利益合計	135,041	199,295
四半期包括利益	1,188,208	124,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,188,208	124,959

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。